

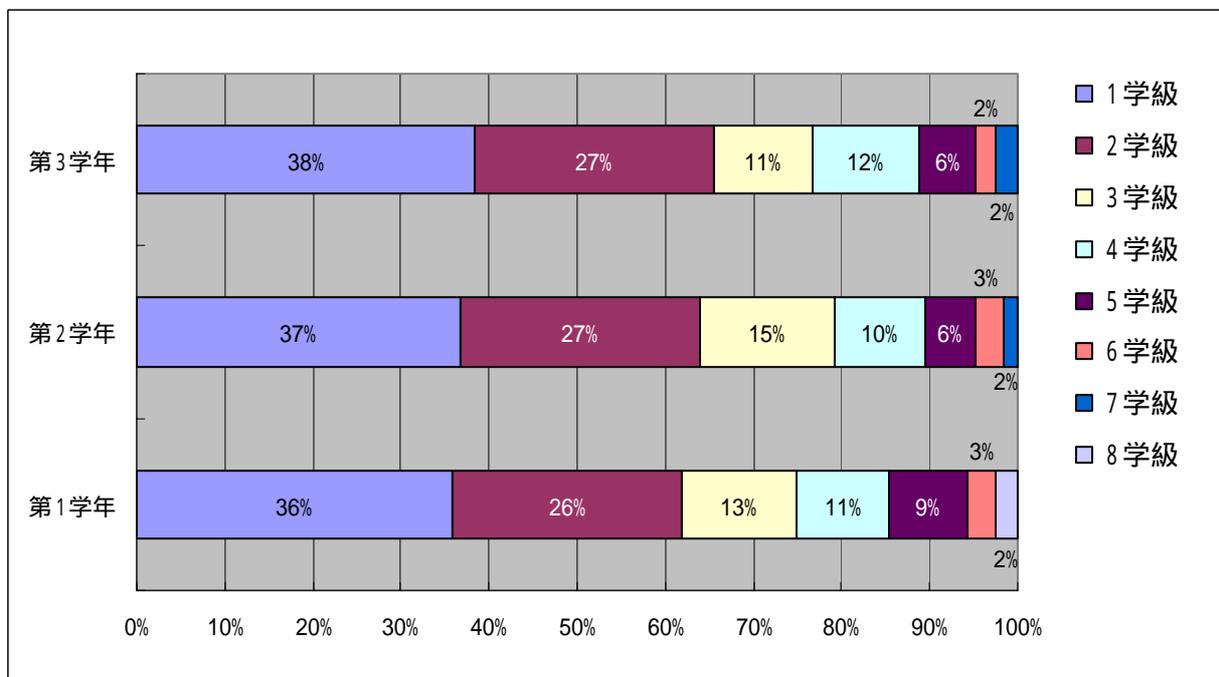
平成 22 年度 技術・家庭科教育課程実施状況アンケート調査結果概要 (長崎県教育センター)

1 回答校の概要

1-(1) 回答校数

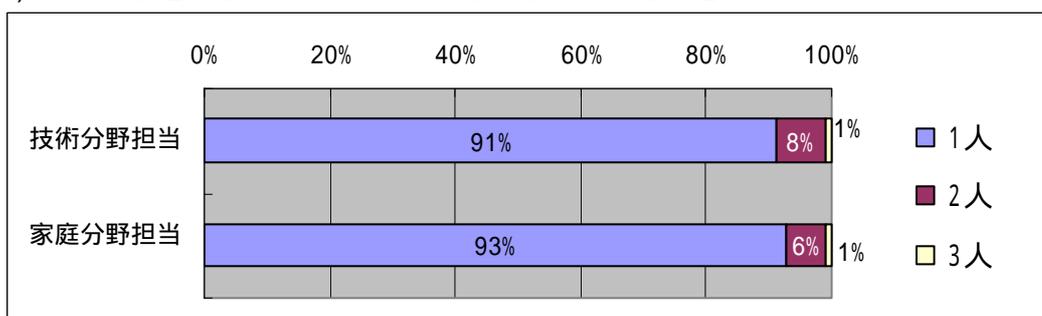
126校

1-(2) 学年別学級数

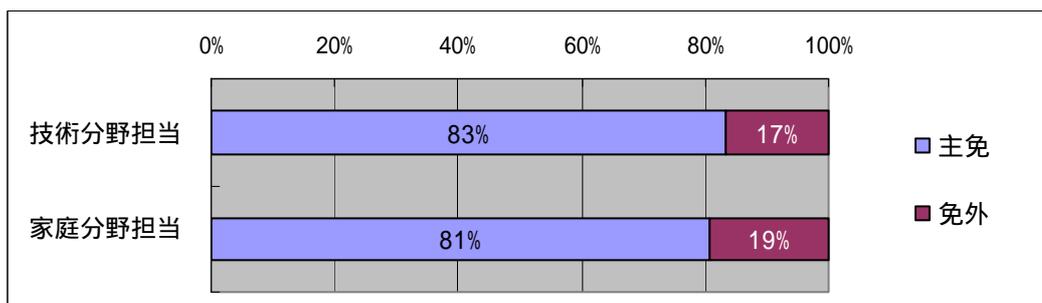


2 技術・家庭科の担当状況について、お尋ねします。

2-(1) 技術・家庭科を何人で担当していますか。人数を御記入ください。



主免で担当していますか、免外で担当していますか。



2-(2) 各学年の技術分野と家庭分野の実施状況について、次のア～オの該当するものを番号で答え、そのように実施している理由と問題点があれば御記入ください。(複数回答可)

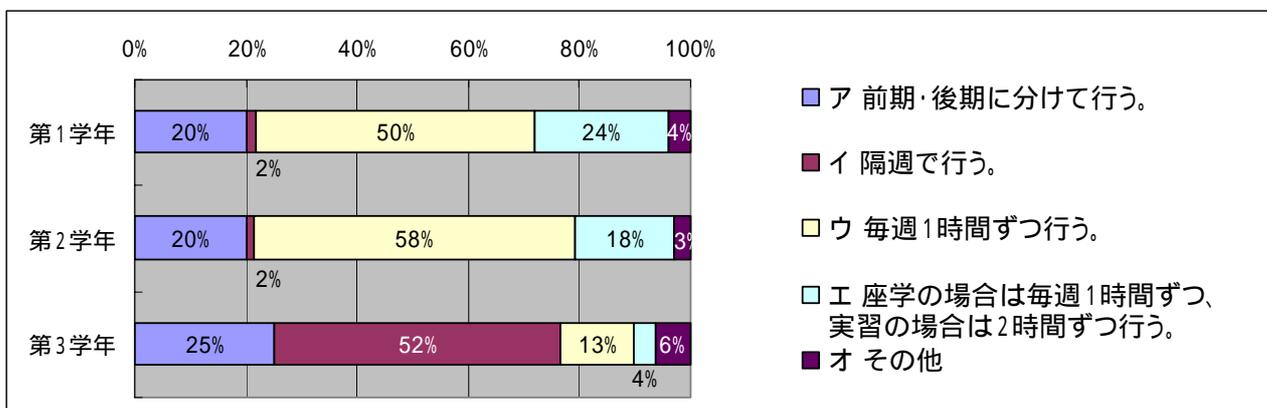
ア 前期・後期に分けて行う。

イ 隔週で行う。

ウ 毎週1時間ずつ行う。

エ 座学の場合は毎週1時間ずつ、実習の場合は2時間ずつ行う。

オ その他 ( )



【理由】

アの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期制のため、前期・後期で実施している。</li> <li>まとまった時間の確保により集中して学習指導をすることができる。</li> <li>2時間あるいは3時間続きの実習時間を確保しやすい。</li> <li>2時間連続の授業を毎週行うことにより、学習事項の定着を図ることができる。</li> <li>3年生の指導においては、前後期に分けることで、毎週1時間の授業を実施することができ、学習事項の定着を図ることにつながる。</li> </ul>
イの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を2時間続きにするため、隔週で行っている。</li> <li>技術分野、家庭分野のどちらかに定期試験の内容が偏らないようするため。</li> </ul>
ウの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>週に1回は授業を実施することで、生徒と接することができるから。</li> <li>年間を通して、授業を実施することで評価がしやすい。いずれかの分野に偏ることなく技術・家庭科として1年間の評価ができる。</li> <li>1年間の評価(学習の様子)の推移を見ることができる。</li> </ul>
エの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週1時間の授業だと、学級間で進度を揃えることもでき、臨時時間割にも対応しやすい。</li> <li>隔週で授業を行うと状況によっては、1ヶ月以上間が空く場合もあり、学習内容の定着が図りにくい。また、前・後期に分けると、他教科との履修の関係からも、同じ条件で評定を出すことが難しくなる。</li> <li>実習においては、2時間連続での授業が効果的である。</li> <li>学習内容の定着を図るため。</li> </ul>
オの理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通し、毎週時間割を作っているため、不定期に授業を実施している。</li> <li>実習の場合は2時間ずつ行うこともある。</li> <li>1学期は技術、2学期は家庭、3学期は毎週1時間実施することによって、集中した指導が可能であり、評価の面からも効率的である。</li> </ul>

## 【問題点】

- ・ 実習や作業を伴う場合、準備や後片付けに時間をとられないように工夫する必要がある。
- ・ 本時から次の授業までの間隔が空きすぎることがあり、学習内容の定着に問題がある。
- ・ 教科担当が非常勤講師で週1回の来校なので、時間割編成上制約を受ける。

### 3 技術分野についてお尋ねします。

3-(1)新学習指導要領の次の各内容は、第何学年で実施予定ですか。

#### A 材料と加工に関する技術

(1) 生活や産業の中で利用されている技術について

- ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える
- イ 技術の進展と環境との関係について考える

(2) 材料と加工法について

- ア 材料の特徴と利用方法を知る
- イ 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる
- ウ 材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考える

(3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作について

- ア 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考える
- イ 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができる
- ウ 部品加工、組立て及び仕上げができる

#### B エネルギー変換に関する技術

(1) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について

- ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る
- イ 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる
- ウ エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える

(2) エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作について

- ア 製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる
- イ 製作品の組立て・調整や、電気回路の配線・点検ができる

#### C 生物育成に関する技術

(1) 生物の生育環境と育成技術について

- ア 生物の育成に適する条件と、生物の育成環境を管理する方法を知る
- イ 生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考える

(2) 生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育について

- ア 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができる

#### D 情報に関する技術

(1) 情報通信ネットワークと情報モラルについて

- ア コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る
- イ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る
- ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える
- エ 情報に関する技術の適切な評価・活用について考える

(2) デジタル作品の設計・制作について

ア メディアの特徴と利用方法を知り、製作品の設計ができる

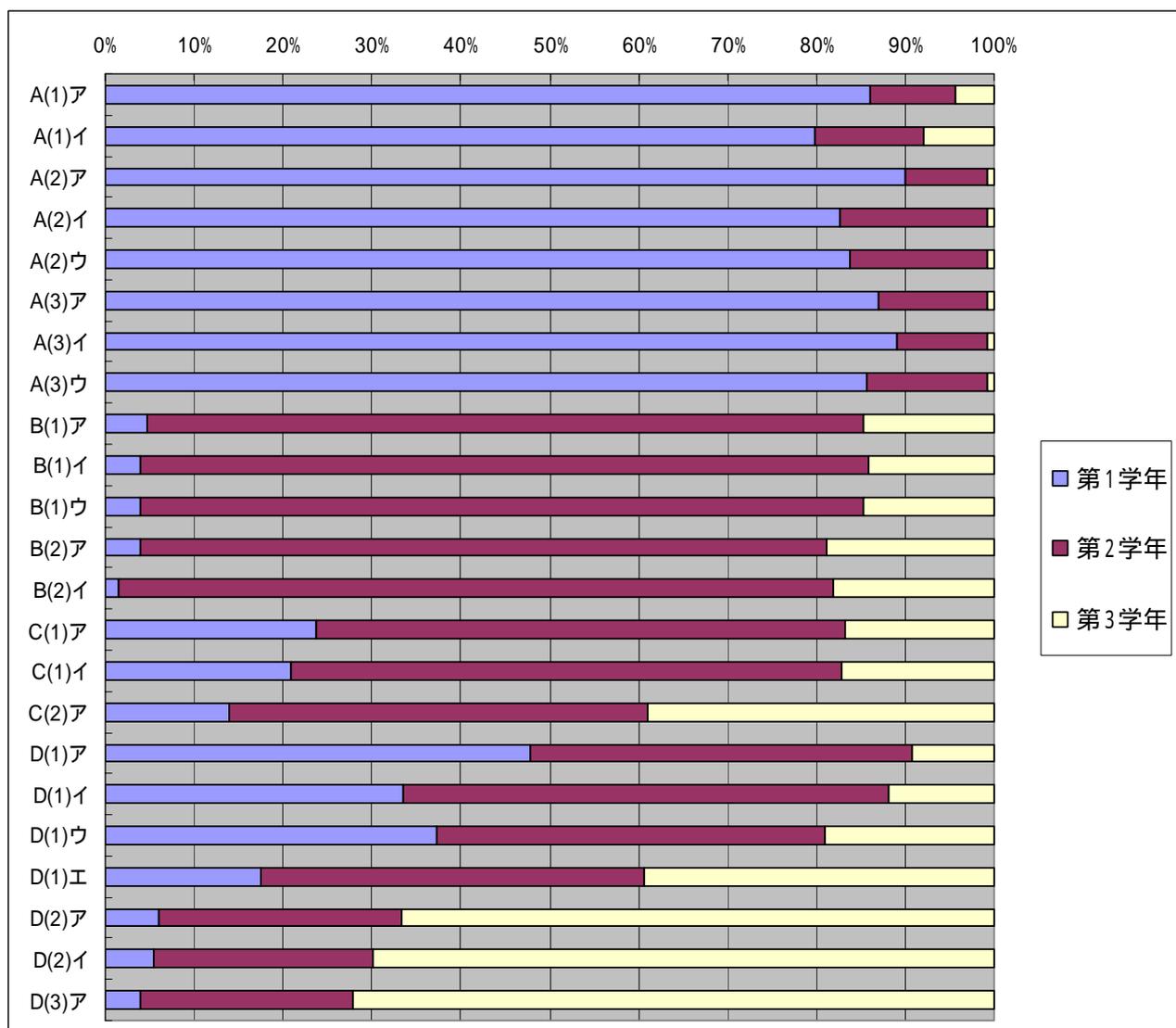
イ 多様なメディアを複合し、表現や発信ができる

(3) プログラムによる計測・制御について

ア コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る

イ 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる

技術分野：各指導事項の実施状況

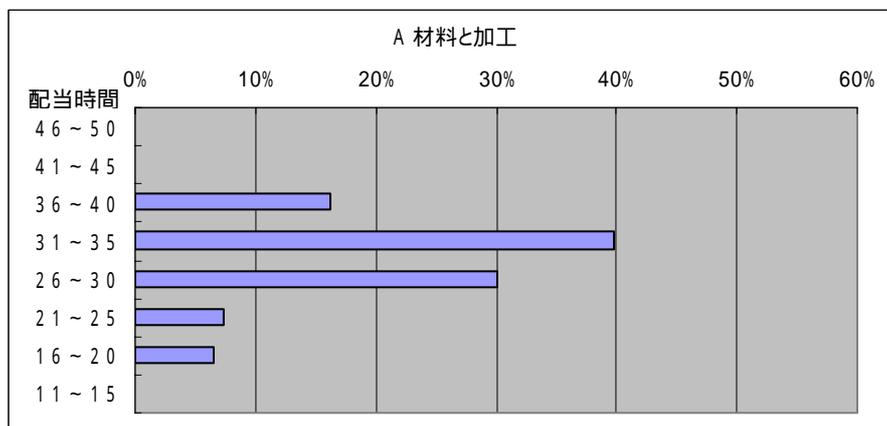


### 3-(2) 新学習指導要領による技術分野の学習指導上、特に困っていること(課題)

- ・ 各指導内容の十分な学習時間の確保が課題で、カリキュラムの組み方に工夫が必要である。
- ・ 免外教科担任なので、指導計画の作成、題材設定等に不安がある。
- ・ 免外教科担任で初めて受け持つので、わからないことばかりである。
- ・ 生物育成とプログラムによる計測・制御についての研修が必要。
- ・ これまで、生物育成に関する実践を行ったことがないので不安である。(多数の回答)  
(内容の取り扱い、指導計画、題材の選定、場所の確保、授業時間以外の生育管理等)
- ・ プログラムによる計測・制御に関する適切な題材(教材)の開発や教材の確保が難しい。

### 3-(3) 技術分野の次の各内容の配当時間と、実施(又は実施予定)している実践的・体験的な学習の具体的内容

#### A 材料と加工に関する技術



#### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

##### ・ 設計

1枚板(1000×210×12mm)から、生徒が作りたいものを設計・製作

設計の手順・材料について学習し、その後、パソコンを用いて設計図を作成

「テーマ： のための 」として、一部自由設計要素を取り入れた作品の製作

##### ・ 製作実習

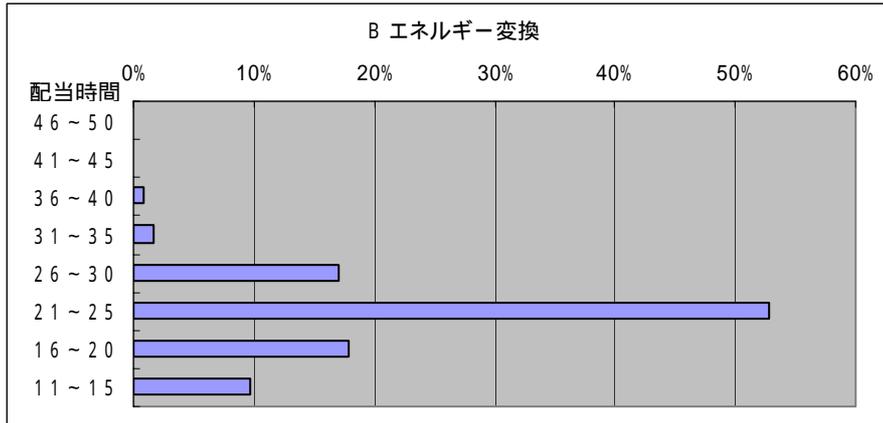
融合作品(金属やプラスチックなど)の製作

2×4材や1×4材を使ったイスの製作

木材を主な材料としたプランターや本立てなどの製作

金属の鋳造(減摩合金を利用)

## B エネルギー変換に関する技術



### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

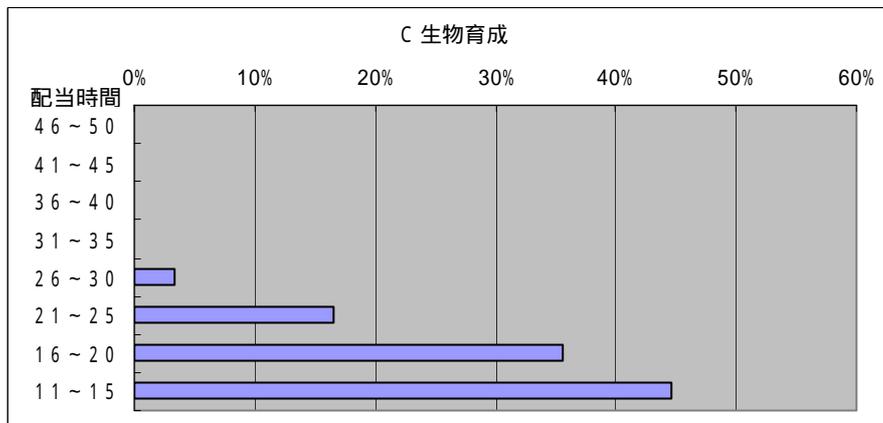
#### ・実験実習

- 動力伝達（ギヤ、モーター、エンジンなど）の仕組み
- 回路計による電流・電圧・抵抗等の測定
- センサー等を組み込んだ電気回路実習

#### ・製作実習

- ロボット製作（ロボットコンテスト）
- 太陽光発電の仕組みとそれを利用した電気製品の製作
- 風力発電による発電量の計測、発電効率の良いブレードの設計・製作
- 廃材や身の回りにあるものをフレームに利用した電気スタンドの製作
- 安全装置を取り入れた、テーブルタップの製作
- オルゴール演奏人形の製作
- LED ライトの製作
- 1×4材とシャンデリア球を主材料とした「電気ランタン」の製作

## C 生物育成に関する技術



### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

#### ・栽培実習

- 二十日ダイコンの牛乳パック栽培
- 環境条件に視点をあいた、二十日ダイコンのプランター栽培

## ダイコンの袋栽培

### ペットボトルによる水耕栽培

第2学年で、秋ギクの栽培を4月から11月まで実施、その後の12月～3月は、第1学年へ引き継ぎ、次年度の苗作りを実施

秋ギクの栽培で地域のゲストティーチャーを活用

#### ・栽培品種

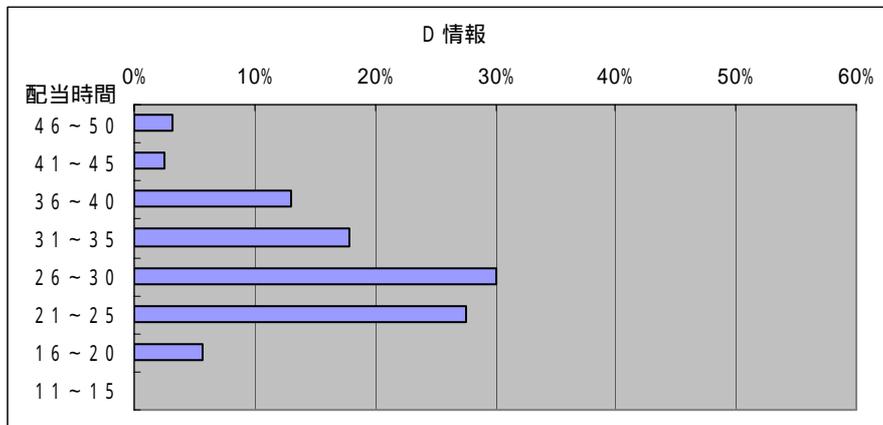
##### 野菜、その他

ミニダイコン、スプラウト、コマツナ、サヤエンドウ、トウモロコシ、シソ、ハバネロ、ネギ、サツマイモ、ラディッシュ、キノコ

##### 草花

キク、ヒマワリ、キキョウアサガオ、カスミソウ、チューリップ、観葉植物

## D 情報に関する技術



### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

#### ・実習、演習の内容

デジタルの基礎とネットワーク技術、インターネットの体験  
マルチメディアの基礎的な知識取得のための実習  
簡単なプログラムで機械を制御する実習  
情報モラルに関する演習

#### ・作品

画像、映像処理作品（CG アニメーションなど）  
マルチメディア作品（表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、BGM 挿入など）  
Web ページ（HTML 言語使用、文字・音楽・アニメーション挿入など）  
栽培実習の記録（プレゼンテーションソフト）  
BASIC プログラム（発表会含む）  
卒業電子アルバム  
小型の制御ロボットの製作（プログラムによる制御）

#### 4 家庭分野についてお尋ねします。

4-(1)新学習指導要領の次の各内容は、第何学年で実施予定ですか。

##### A 家族・家庭と子どもの成長

###### (1) 自分の成長と家族について

ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える

###### (2) 家庭と家族関係について

ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解する

イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考える

###### (3) 幼児の生活と家族について

ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する

イ 幼児の観察や遊び道具の製作などを通して、幼児の遊びの意義について理解する

ウ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できる

エ 家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できる

##### B 食生活と自立

###### (1) 中学生の食生活と栄養について

ア 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考える

イ 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える

###### (2) 日常食の献立と食品の選び方について

ア 食品の栄養的特質や、中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知る

イ 中学生の1日分の献立を考える

ウ 食品の品質を見分け、用途に応じて選択できる

###### (3) 日常食の調理と地域の食文化について

ア 基礎的な日常食の調理ができること。また、安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる

イ 地域の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解する

ウ 食生活に関心を持ち、課題をもって日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できる

##### C 衣生活・住生活と自立

###### (1) 衣服の選択と手入れについて

ア 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる

イ 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる

ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる

###### (2) 住居の機能と住まい方について

ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る

イ 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる

###### (3) 衣生活、住生活などの生活の工夫について

ア 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる

イ 衣服又は住まいに関心を持ち、課題をもって衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できる

D 身近な消費生活と環境

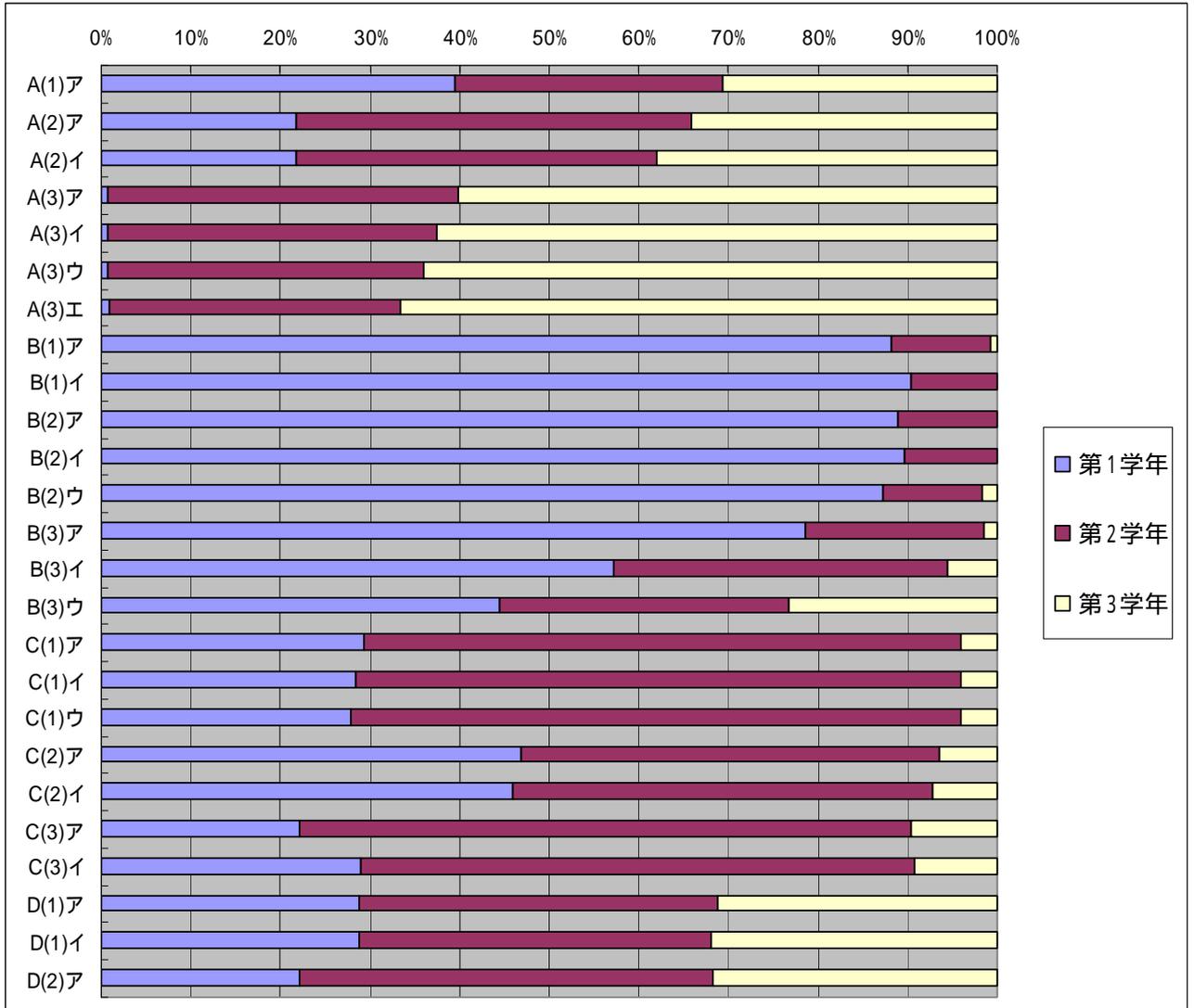
(1) 家庭生活と消費について

- ア 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する
- イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる

(2) 家庭生活と環境について

- ア 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる

家庭分野：各指導事項の実施状況

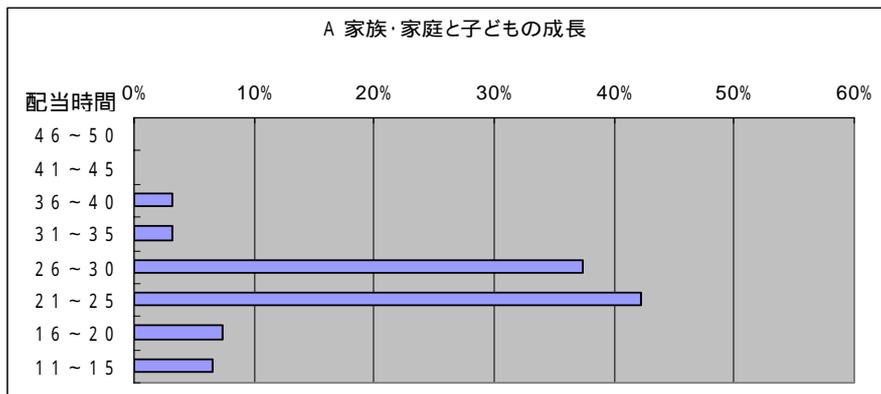


#### 4-(2) 新学習指導要領による家庭分野の学習指導上、特に困っていること(課題)

- ・ 免外教科担任なので、内容や配当時間、指導計画の作成、題材設定で悩んでいる。(多数の回答)
- ・ 免外教科担任なので、すべての面で戸惑っている。
- ・ 各内容の履修学年など他の学校の実施状況を知りたい。
- ・ 「ストーリー性のある指導計画」といわれるが、どのようなものかよくわからない。
- ・ 限られた授業時数の中で、生徒に必要な知識・技術を習得させることが難しい。特に3年生での授業時数が少なく、題材設定に悩んでいる。
- ・ 問題解決的学習において課題を解決する能力が身に付いているかどうかの評価が難しい。
- ・ 保育実習で複数の施設を訪問する場合、訪問先の行事等の関係で日程の調整が難しい。
- ・ 保育実習に関して、保健衛生の観点から受け入れていただくのが難しくなった。

#### 4-(3) 家庭分野の次の各内容の配当時間と、実施(又は実施予定)している実践的・体験的な学習の具体的内容

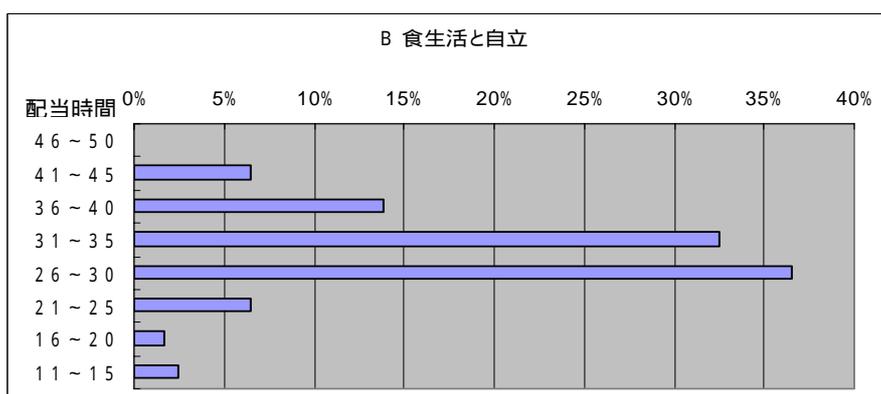
##### A 家族・家庭と子どもの成長



##### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

- ・ 家族とのかかわりに関するロールプレイング
- ・ 家庭の仕事に関する実践レポート
- ・ 幼児のおもちゃの製作(幼稚園児との交流時にプレゼントし、幼児が使う様子を観察)
- ・ 幼児のおやつづくり(栽培した野菜の利用)
- ・ 幼児の衣服の製作
- ・ 自分の成長記録の紹介(プレゼンテーションソフトを用いて)

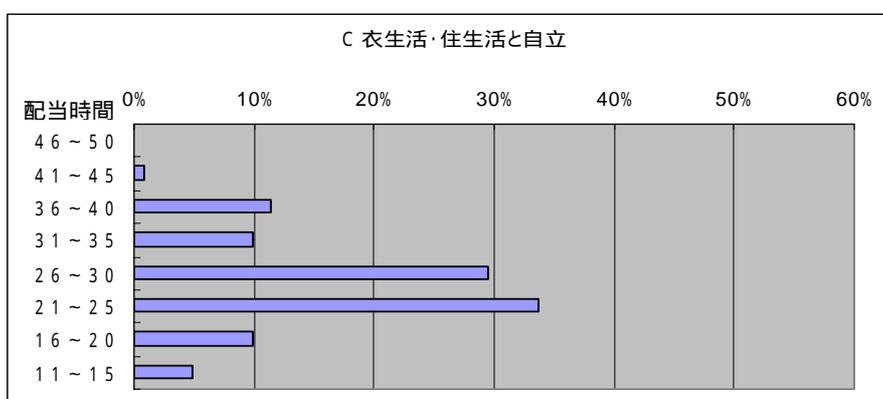
##### B 家庭生活と自立



### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

- ・中学生の1日分を目安とした献立作成
- ・テーマに基づいた1食分の献立作成と家庭における実践、その後のレポートの提出
- ・表示やマークの意味を踏まえた食品の選択のしかた
- ・食品の調理上の性質についての調理実験
- ・地域の食材を生かした調理実習
- ・環境のことを考えた調理実習（ごみ減量、省エネルギー等）
- ・地域の食材を利用した郷土料理づくり
- ・野菜の切り方
- ・弁当づくり

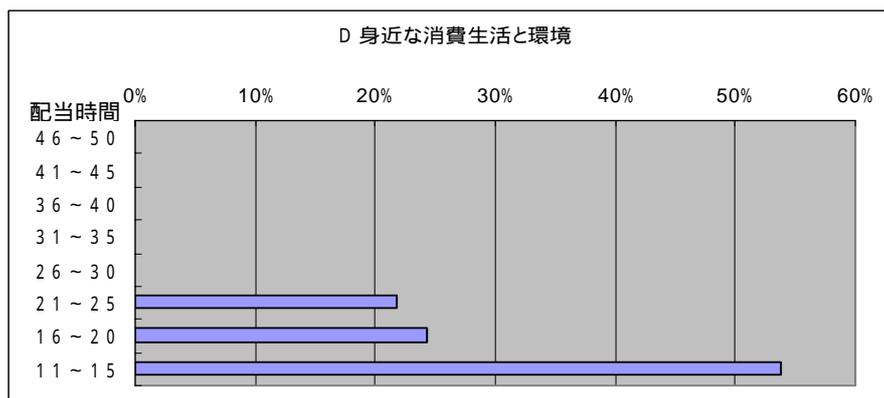
### C 衣生活・住生活と自立



### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

- ・衣生活に関して
  - 簡単な小物の製作  
（ブックカバー、ティッシュボックスカバー、新聞紙を用いたエコバッグ）
  - 衣服の手入れに関する実習（基礎縫い・アイロンかけ・実技テスト）
  - 衣服の補修、洗たく、染み抜きの実習
  - 衣服のコーディネート
  - 衣服のリフォーム
  - 浴衣の着用
- ・住生活に関して
  - 住まいの汚れ落としの実習
  - 住宅の広告を用いた動線や住宅選びのシミュレーション
  - 高齢者体験を通じた住まいの振り返り
  - 住環境に関する実験（通風実験 等）
  - 夢の家や部屋のデザイン

## D 身近な消費生活と環境



### 【実践的・体験的な学習の具体的内容】

- 消費生活に関して
  - 買い物調査
  - 買い物シミュレーション(お小遣いをどう使用するか)
  - 商品についている表示やマークの意味を踏まえた商品選びのポイント
  - 悪質商法のロールプレイ
  - 消費者保護に関する法律の調べ学習・発表
  - クーリング・オフの解約書の書き方
  - バーチャルネットショッピング体験
- 環境に関して
  - 環境に配慮した調理実習
  - 川の水の汚染度実験
  - リサイクル